



道

令和五年三月三十一日発行

第八十四号

神青



「折れない心」
第四編
監修・元K-1ファイター
ニコラス・ベタス先生

令和4年度
神道青年全国協議会中央研修会



北海道神道青年協議会

北海道神道青年協議会

令和5年度 神道青年全国協議会 中央研修会
札幌大会開催しお祝い
北海道神社庁
令和5年3月7日-8日 札幌7ツツスホール

神宮大麻全国頒布百五十周年事業

インスタグラム
「神棚・御神札 なして？
そおなの？ Q&A」

明治天皇の思召しにより、明治五年に神宮司庁で直接奉製された神宮大麻が全国に頒布されてより、令和四年に節目の百五十周年を迎える事となりました。

この機会を得て、増頒布に繋がる事業として、多くの方に神宮大麻について知っていただく事、兼ねては特に若い世代（主に二十代〜四十代）や神棚を祀っていない方、神宮大麻自体を知らない方々を目標に、インスタグラムに於ける情報発信を行い、事業展開を執り行いました。主な目的としては神宮大麻・神棚に対しての関心並びに興味を持たせる事、布いでは頒布増進促進に対しての一助となります。

期間は令和四年十一月十五日よりインスタ投稿開始となりました。「Q&A方式」で掲載し、主に神宮大麻・神棚及び御神札とは？・神棚御神札の祀り方・その他の項目で、十二月三十日迄の計三十一回掲載しました。年齢層が若い世代を指していることもあり、掲載内容も親しみやすい様に、固い表現より、ある程度柔らかい表現にする為、会議等で苦慮した

面もありました。因みに見出しは「神棚・御神札 なして？そおなの？」と方言丸出しです。各投稿により関心があったリーチ数を挙げますと、最初の投稿という事もあり、神宮大麻自体の内容及び語源に興味があった様です。神棚お神札に関しては、神棚の歴史については、神棚お神札の祀り方については、神宮大麻などの覆紙の扱い

方に反応を示しました。はがすように促してはいますが、未だ興味があるみたいなので我々も鋭意努力しなくては感じました。同様に参拝作法に対しても関心がありました。神棚拝詞等を記載したのも伸びた理由なのかなとも思いますが、その他は正月前の投稿もあり、何れの項目にも関心があった模様でした。主に正月飾りに関しては、

各地域の風習も鑑みて興味があったのではないのでしょうか？
本事業を通して、担当者の苦勞話をお聞きしましたので、集約してお伝えいたします。「教えていただきありがとうございます」と一件のみではありましたがコメントが届きました。たった一人でも感謝の言葉を述べていただけただけのは何よりの励みになります。逆

おふだ
神棚・御神札
なして？そおなの？
Q&A
「神棚ってなに？」「どうすればいいの？」
神棚、御神札について
わかりやすく解説いたします！



紹介ページ

<https://www.doshinsei.net/kamidana>



北海道神道青年協議会



に苦労した点では、前記にも述べた通り、崩した表現方法に難しさを感じ、言葉一つ一つに慎重を要して作成、文だけではなく画像・写真に関しても、相応しい当てはめ方に非常に苦労したとのことですが、更には、事業開始に当たり告知投稿を行った際に、運営している会社のAI判定により、神宮大麻の「大麻」表記が薬物判断になり、有料広告が実行された回と、アカウント停止の危険性により、

A.
「じんぐうたいま」と読みます。

大麻と書いて「おおぬさ」と読む場合もあります。伊勢の神宮の「おふだ」である大麻(おおぬさ)の起源は、御師(おんし)と呼ばれる人たちが個人的に行う祈禱によって奉製したもので、祈禱の供物=幣(ぬさ)に麻を用いたことから「麻」を「ぬさ」と呼び、その名に負うことになったようです。

止む無く中止した回とがありました。今後の課題材料になるかと思えます。

今後の展開に関しては、同時期に再度投稿を行うことで投稿を伸ばす機会になればと思います。幾つかを選び投稿し、持続して関心と興味を持たせ、頒布増進になれば幸いです。

雄武神社 権禰宜 中島徹

北方領土問題啓発事業

頒布品製作並びにSNSに於ける啓発投稿



当会の先輩諸氏はこれまでに領土問題を抱える当該地区として北方領土に関する様々な啓発事業を行って参りました。北方領土啓発ポスター、千島桜ピンバッチ、啓発パネル製作の他、返還要求署名キャラバン隊を結成し署名活動を行うなど多岐にわたります。

今期に於いては令和四年二月一日〜七日まで道神青協インスタグラムアカウントを用いて、北方領土に御鎮座されていた神社の写真を紹介し周知すると共に、北方領土問題に対する興味・関心の促進、

また二月七日が北方領土の日であることの認知向上を目的として、「北海道の神社百景」〜北方領土の神社〜を執り行いました。

そして今年度は道内各社から北方領土問題を啓発出来る内容を検討している中で、「御朱印」に着目し、参拝者に対する啓発を目的として、御朱印用の啓発ハンコ並びに挟み紙を製作致しました。

ハンコは千島桜をモチーフとしたデザインと「祈 返還 北方領土」の文字を入れ、挟み紙には千島桜と日の丸をイメージ出来る内

容とし、文字を多用せずに北方領土が日本領土であることを一目でわかるデザインを採用しました。また、左下にあるQRコードは、北海道総務部北方領土対策本部が中心となり開設した、若年層をはじめとする幅広い層へ、北方領土問題に対する理解を深め、関心を高めてもらうことや、北方領土隣接地域の魅力をわかりやすく発信することを目的とした啓発用WEBサイト「北方領土」知ってる？わたしたちの北方領土」へリンクし、より詳細な情報を多くの参拝者へ届けるべく取り入れました。参拝者からは「オホーツク海の近くに住んでいるが、あまり詳しく調べたことが無かったので、領土問題を知る良い機会になった。」や「千島桜が返還要求運動のシンボルであることを初めて知った。署名活動があれば参加してみようと思う。」などのお声を頂戴し、少しずつ輪が広がっているように感じます。

また、この事業に付随して令和五年二月六〜七日の二日間、挟み紙のデザインをSNS投稿用に加工した画像を用いて啓発投稿を行い、一連の啓発事業の結びとなりました。

各社宮司様、会員の皆様におかれましては、本事業に際し御理解と御協力を賜りましたこと心から御礼申し上げます。今後も北方領

土問題解決のための世論の結集を働きかけ、我が固有の領土である北方領土の返還に向けて、様々な手法を模索しながら継続的に啓発活動を執り行つて参りたいと存じます。

美幌神社 榎宜 井上真輔



【北方領土の日とは？】

北方領土問題に対する国民の関心と理解を深め全国的な北方領土返還要求運動の一層の推進を図るために政府は1981年（昭和56年）1月6日の閣議了解により毎年2月7日を「北方領土の日」と制定しました。

「北方領土返還要求全国大会」をはじめ多くの民間団体によって領土返還へ向けた様々な行事が全国的に行われております。

2月7日は1855年（安政元年）日本とロシアが『日魯通好条約』を結んだ日で、平和のうちに択捉島とウルップ島の間に国境が定まりました。以降、北方四島は、歴史的に見ても一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土です。戦後間もなく当時のソ連軍に占拠されて以降、今日に至るまで不法占拠が続いています。

北方領土返還を実現するための外交交渉を後押しする大きな力は、北方領土返還を求める国民1人1人の「声」が必要です。

～国民の心をひとつに～

#北方領土の日 #2月7日 #北海道の神社百景 #北方領土の神社 #北方領土 #択捉島 #国後島 #色丹島 #歯舞群島

#神社 #神社好き #神社巡り #神道 #神社好きな人と繋がりたい #写真好きな人と繋がりたい #写真撮ってる人と繋がりたい #カメラ好きな人と繋がりたい #日本 #日本の景色 #風景 #jinja #japan #shinto #japan_lovers #photo_jpn #japantrip #japan_of_insta #lovers_nippon #北海道神道青年協議会 #北海道

2月7日



北海道神道青年協議会
研修旅行

神道青年全国協議会
中央研修会

去る令和五年三月八日(水)～九日(木)にかけて、令和四年度神道青年全国協議会中央研修会が神道青年四国地区協議会主管、徳島県青年神職会担当にて、徳島県の徳島グランヴィリオホテルにて開催されました。全国より二三名、北海道青年協議会よりは二三名が参加を致しました。これに合わせ、三月七日(火)より道神青協研修旅行が企画され、阿波国



一之宮大麻比古神社への正式参拝・鳴門海峡の渦潮観光を行いました。



今回の「中央研修会」のテーマは「想ひ」を繋ぐ、受け継がれしものを次の世代へくを主題とし、未来を担う青年神職が、戦時より受け継がれた「想ひ」を次の世代へとバトンを繋げられるよう、多岐にわたる事例から考察する事により、進むべき道を見極め、行動する事を目的として開催されました。第一講に映画監督の安藤桃子先生、第二講に株式会社和える代表取締役矢島里佳先生、第三講に阿波おどり振興協会理事長・天水連連長の山田実先生、第四講に武道家・元K-1ファイターのニコ



ラスベタス先生の四名の先生方にも御講演をいただきました。

第一講の安藤先生は「全てのいのちに優しい世界」と題し、映画監督のみならずミニシアターの運営・ワークショップの開催等のお話を通じて、人と人との交流の場が文化の集合地点となるとし、地域の活性化に繋がる事を学びました。また人の少ない公園や取り壊し予定のビルにシアターやギャラリーを展開する発想・行動力には驚きを覚えました。第二講の矢島先生は「伝統は「守るべきもの」なのか」と題し、御自身の経験や事業活動を基に、日本の伝統技術の継承についてお話をいただきました。先生は伝統工芸品の販売等の事業を展開されており、伝統は守るものではなく繋ぐものとして、

知ってもらおう事の大切さを学ぶことが出来ました。社会的職業に合わせ自分の職業を設定する事による柔軟な仕事は神職にも通じるところがあるように感じました。第三講の山田先生は「次世代に繋ぐ」と題して、御自身の阿波おどりの活動を通してお話を記念講演の映像等を交えて御講演いただきました。連(チーム)のお話では、そこに所属している人たちが阿波おどりを愛し、厳しい練習も乗り越えていく姿、若い人達が成長していく姿についてお話をされています。この連というコミュニティは神社の氏子との関係にも似ている所があり、とても参考になるお話であったと思います。また懇親会の際には、御自身が代表を務める天水連の皆様による阿波おどりが披露され、全国の会員の参加もあり大いに盛り上がりました。第四講のニコラス・ペタス先生は「折れない心」と題し、先生の日本に渡るきっかけや空手・K-1での経験を基にお話をいただきました。その中で、物事を達成するためには職人になることとし、知識を深め、そのものを好きになり自分自身を作り上げていくことが大切とおっしゃっておりました。また御自身の空手からK-1への挑戦の際に直面した難しさを挙げ、事前の勉強・戦略の大切さ、自己流の限界・チームの重要性に

についてもお話をいただきました。これからの様々な事に挑戦していく青年神職への教訓になったことと思います。

現代の日本では、少子高齢化や新型コロナウイルスの影響によって伝統の継承や・神社の維持すら難しい世の中になってしまったと思います。今回の中央研修会では、その様な状況を変えていくヒントを多く得る事ができたと感じました。先生方のエピソードはどれも強い意志と行動力によって成し遂げられたものばかりです。我々青年神職においてもこの先に「想ひ」を繋いでいくべく、先生方の様に強い意志を持ち、日々自己の研鑽に努めなくてはならないと自覚したことを思います。

また、この様な貴重な時間を御用意いただいた先生方、神道青年四国地区協議会並びに徳島県青年神職会の皆様に感謝を申し上げます。

北海道神宮 権禰宜

井上 晋太郎



武道家
ニコラス・ペタス 先生

阿波踊り振興協会 理事長
山田 実 先生

株式会社和える 代表取締役
矢島 里佳 先生

映画監督
安藤 桃子 先生



参加した道神青協会員

北海道神道青年協議会

『とめ、はねっ!』で学ぶ御朱印実用勉強会



去る令和五年三月十六日十四時より、北海道神社庁研修室に於いて『とめ、はねっ!』で学ぶ御朱印実用勉強会が開催されました。全道より会員三十七名参加の下、書家でありツキガタアートヴィレッジ村長の久保奈月先生を講師としてお招きし、実技を含めた御講義を賜りました。

久保先生におかれましては、平成二十九年に「一日で美しく、魅力溢れる御朱印講座」と称して講師を務めていただいたこともあり、我々道神青協においても御縁のある関係性であろうかと存じます。

又、本勉強会を開催するに際しまして、事前に会員各々が書いた御朱印書きを久保先生に提出し添削していただきました。書家の方から直々に添削していただけることはそうそうございませんので、己の書体を見直す良い機会となったかと存じます。

扱、日程の流れと致しましては、先ず、開会式に際し北方宏和会長の御挨拶がございました。開催趣旨を述べられた後、久保先生が御入場をし、御講義が開始されました。

本勉強会は前半と後半で分かれまして、前半では実技として楷書・行書・草書の三種類を用いて、とめやはね等の基本的な筆の運び方を改めて御教授いただきました。久保先生は「御朱印書きは神社名・奉拝・日付の三つで構成されることが多いですが、特に日付のバランス（書き始めと終わりに均等な余白を作ること）が重要です。」と仰っております。其の他にも、一から十までの漢数字を何度も何度も丁寧に清書致しました。

後半では、御朱印書きのデザイン性について考える時間となりました。久保先生御自身も御朱印を受けられるということもあり、特に感銘を受けた御朱印のデザイン



を幾つか例にして御教授いただきました。お宮ごとに全く違うデザインの為、其々の個性が見受けられ、非常に創作意欲を刺激されました。その後、時間の許す限り各々が思うままに書き続けました。



結びに、本勉強会で学んだことは御朱印書きだけではなく祝詞書き等にも活かすことが出来る為、更に絶えず練習を重ね神明奉仕に励んで行こうと存じます。
鷹栖神社 禰宜 五十嵐久承



当日の様子



北海道青年全国協議会臨時総会
北方会長次期神青協監事選出
去る令和四年十一月十七日、神社本庁大講堂に於いて北海道青年全国協議会臨時総会が行われました。コロナ禍の社会情勢を鑑み、ハイブリット形式での開催となり、ウェブ出席を含む役員・代議員百二十五名が出席致しました。
本会では次期の会長と監事選出の議案が審議され、次期会長に大鳥居良人氏(東京都)、次期監事に吉田芳樹氏(東北地区福島県)、湯浅迪彦氏(中国地区岡山県)、そして北方宏和道神青協会長が満場一致にて承認されました。北海道からは菅原大記現監事に続いての選出となります。今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。
美幌神社 禰宜 井上真輔

新会長挨拶



荒木直弥

常日頃より本会の諸活動に際し格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年十月十八日、岩見沢の地にて開催されました臨時総会に於いて次期会長の御承認を賜り、向後二年間会長の席をお預かりする事となりました。先輩諸賢が熱い情熱と志を持って連綿と紡いでこられた本会の歴史と多大なる功績に敬意を表すと共にその責務の重さに大変身が引き締まる思いでございます。もとより浅学非才の身ではございますが青年神職として今出来る事を模索し役員をはじめ会員の皆様の力を借りて誠心誠意斯界の更なる発展のため尽くして参る所存でございます。

のは役員の皆様のご尽力と何より北方前会長の強い決断力あつての事だと存じます。ウイズコロナからアフターコロナへの転換期を迎えつつある今、祭りの復興は元よりコロナ禍で山積した課題に真摯に取り組んで参るべく事業を展開して参ります。会員相互の親睦と自己研鑽を大きな柱として、先ずはより多くの会員が事業に出席して頂けるよう事業構築に努めて参ります。又、地域活性化の一助に繋がるような事業を図りそこで学んだ事を多くの会員が各社、各地域に持ち帰り実践できるように協議を重ね実施して参ります。SNSを活用した情報の発信にも継続して力を入れ一般層へ向けて神社の魅力を伝えると共に実際に足を運んで頂けるよう多角的な視点を以って取り組んで参ります。令和六年三月には過去四回に亘って北海道で開催されました神道青年全国協議会中央研修会が札幌の地に十年ぶりに開催を予定しております。全国から多くの会員を迎える事となりご出席頂く皆様にとって充実した研鑽の場と成るよう万全を期して準備を進めて参ります。更に本会は令和六年に創立七十五周年の佳節を迎えます。戦後の荒廃の中で斯界の発展と日本の復興を願ひ昭和二十三年十月二十五日に設立されてより七十五年の節目に今一度原点に立ち返り創始の精神を胸に未来へ繋げる活動を行うべく協議を重ね記念式典の開催、道内神社神職名簿の発行、記念事業等展開して参る次第でございます。次期は大きな事業を控え会員の皆様には多大な御負担をお掛け致しますが会の諸活動へ積極的な御参加をお願いします。併せて先輩諸賢、関係各位におかれましてはより一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

会長退任挨拶



北方宏和

令和三年四月に菅原大記前会長より道神青協の会長職をお預かりしてより二年の任期が過ぎ、次期荒木直弥会長へと無事に禪を繋ぐことが出来ました。偏に力不足の私に御協力を賜りました役員、会員の皆様、そして先輩諸賢、関係各位皆様の御理解のお陰と衷心より厚く御礼を申し上げます。思い出ごとく、コロナ禍真っ只中で始めた私の任期は、終わり頃に五類への引き下げが決定し、まさに新型コロナウイルス感染症と歩んだ二年でありました。札幌で毎月役員会を開催し、もし役員が罹患してしまつたらどうしようか。事業を開催し、もし会員が罹患してしまつたらどうしようか。常にコロナを意識しなくてはならない状況に気が滅入りました。それでも歩みを止めることなく、役員会もZOOMを利用し、神社庁とウェブのハイブリット会議としました。また、感染症対策を徹底しながら事業を開催する方法を模索しました。私が初めて道神青協の役員として末席を汚していた十六年前の会議は全て紙資料でした。まさか自分が会長の時にオンラインで会議をするとは夢にも思いませんでした。コロナ禍となり社会を取り巻くスピードは圧倒的に早くなつたと感じます。斯界には関係のない話と決めつけるのではなく、利用できるものは積極的に取り入れる事も青年会に出向し大きく学ばせてもらった事でございます。一年目では北海道胆振東部地震の三年祭、正月に各御社頭でお使いいただけるよう制作した社頭アナウンスの音源、インスタグラムを活用したフォトコンテストの継続、懇親会は中止とはなりましたが宗谷での研修会等、事業を行うことが出来ました。二年目からは空知での研修会で懇親会を行い、会員の皆様と楽しい時間を過ごす事が出来ました。コロナ前に当たり前に出来ていた事が有難い事だつたと実感しました。また、スポーツ大会やインスタグラムでのフォトコンテスト、神宮大麻啓発活動を行い、任期の最後には御朱印勉強会も開催する事が出来ました。これも役員の皆様が、それぞれ社務がある中、精力的に活動していただきましたお陰であり、本当に感謝しかございません。心残りと言えば、菅原前会長から託された会員同士の親睦を深める活動が中々出来なかつたことではありますが、私の悔しい想いも次期の荒木会長がしっかりと受け継いでくれると確信しております。次期はいよいよ本格的なアフターコロナの時代となります。また、神青協の中央研修会の主管、当会の創立七十五周年という節目の年も迎えます。コロナ禍で中々躊躇していた活動も積極的に取り組めると期待しております。大きな事業と節目を迎えるこれからの二年は、会員一丸となつた強い力が何よりも必要となります。会員の皆様には今期以上のお力を荒木会長へ注いでいただきますようお願い申し上げます。道神青協の益々の発展を祈念すると共に、御支援賜つた関係各位に重ねて御礼申し上げます。誠に有難う御座いました。

り入れる事も青年会に出向し大きく学ばせてもらった事でございます。一年目では北海道胆振東部地震の三年祭、正月に各御社頭でお使いいただけるよう制作した社頭アナウンスの音源、インスタグラムを活用したフォトコンテストの継続、懇親会は中止とはなりましたが宗谷での研修会等、事業を行うことが出来ました。二年目からは空知での研修会で懇親会を行い、会員の皆様と楽しい時間を過ごす事が出来ました。コロナ前に当たり前に出来ていた事が有難い事だつたと実感しました。また、スポーツ大会やインスタグラムでのフォトコンテスト、神宮大麻啓発活動を行い、任期の最後には御朱印勉強会も開催する事が出来ました。これも役員の皆様が、それぞれ社務がある中、精力的に活動していただきましたお陰であり、本当に感謝しかございません。心残りと言えば、菅原前会長から託された会員同士の親睦を深める活動が中々出来なかつたことではありますが、私の悔しい想いも次期の荒木会長がしっかりと受け継いでくれると確信しております。次期はいよいよ本格的なアフターコロナの時代となります。また、神青協の中央研修会の主管、当会の創立七十五周年という節目の年も迎えます。コロナ禍で中々躊躇していた活動も積極的に取り組めると期待しております。大きな事業と節目を迎えるこれからの二年は、会員一丸となつた強い力が何よりも必要となります。会員の皆様には今期以上のお力を荒木会長へ注いでいただきますようお願い申し上げます。道神青協の益々の発展を祈念すると共に、御支援賜つた関係各位に重ねて御礼申し上げます。誠に有難う御座いました。



令和3年4月7日
道神青協定例総会
北海道神社庁並びにZOOM



写真で振り返る北方会長期



令和3年8月19日
道神青協北海道胆振東部地震慰霊祭
樽前山神社



北海道神道青年協議会 ふるさと祭典事業
Instagram
神社フォトコンテスト
**北海道の
神社百景**
神社を連想する写真を応募しよう！

令和3年7月1日～8月31日



令和3年7月13日
日本書紀撰上千三百年記念事業
Instagram 神社フォトコンテスト「神写」
アートコンテスト「かみさま」パネル展
チ・カ・ホ [札幌駅前通地下広場]

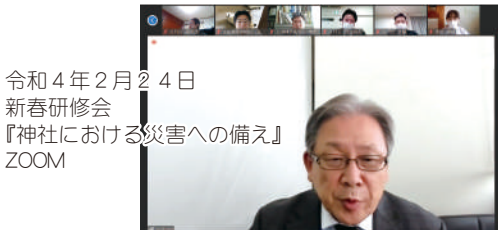


令和3年7月～8月
Instagram神社
フォトコンテスト「北海道の神社百景」
Instagram





令和3年10月21-22日
道神青協研修会(宗谷)
稚内市



令和4年2月24日
新春研修会
『神社における災害への備え』
ZOOM

令和4年2月1日～7日
北方領土啓発事業
Instagram
「北海道の神社百景」
～北方領土の神社～
Instagram



令和4年4月5日
道神青協定例総会
北海道神社並びに ZOOM

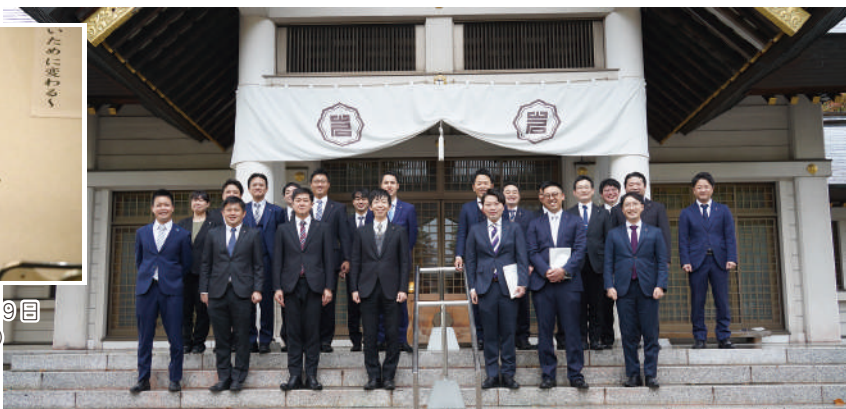


令和4年8月～9月
第2回
Instagram神社フォトコンテスト
「北海道の神社百景」
Instagram





令和 4 年 10 月 18 日～19 日
道神青協研修会 (空知)
岩見沢市



令和 4 年
11 月 15 日～12 月 30 日
神宮大麻全国頒布
百五十周年事業
『神棚・御神札 なして？
そおなの？ Q & A』
Instagram



神棚・御神札 (おふだ) について
わかりやすく解説いたします！



令和 4 年 1 月 8 日
スポーツ大会
札幌神



令和 4 年 11 月～2 月
北方領土問題啓発事業
・頒布品製作
 (御朱印用ハンコ・挟み紙)
・挟み紙デザインを
用いた SNS 投稿
(Instagram)



令和 5 年 3 月 7 日
道神青協研修旅行
神青協中央研修会 (次回開催地 PR)
徳島県



令和 5 年 3 月 16 日
『とめ、はねっ！』で
学ぶ御朱印実用勉強会
北海道神社庁



令和四年度 会務報告

自 令和四年四月 一日
至 令和五年三月三十一日

道神青協会務

四月三日

■監査会 於 北海道神宮

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・勝沼監事・菊池監事)

四月五日

■第十一回役員会

於 神社庁・WEB

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・井上理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事・荻原参与)

■令和四年度北海道神道青年協議会定例総会

於 神社庁・WEB

会員数百四十四名 出席数四十四名 委任状数七十四通

議件

一、令和三年度会務報告

一、令和三年度一般会計歳入歳出決算書承認に関する件

一、令和三年度事業会計収支計算書承認に関する件

一、令和三年度事業会計収支計算書承認に関する件

一、令和三年度積立会収支計算書承認に関する件

一、令和三年度災害対策基金収支計算書承認に関する件

一、令和三年度財産目録・在庫書籍調査承認に関する件

一、令和三年度会計監査報告

一、役員一部変更の件

一、令和四年度活動方針並びに事業計画案に関する件

一、令和四年度一般会計歳入歳出予算案に関する件

一、その他

五月十六日

■第十二回役員会

於 北海道神宮・WEB

(後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・山本理事・瀧川寛理事・加藤理事・勝沼監事・菊池監事)

六月二十一日

■第十三回役員会 於 神社庁・WEB

(北方会長・後藤副会長・荒木副会長・西山事務局長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・井上理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事・荻原参与)

七月二十一日

■第十四回役員会 於 神社庁・WEB

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・鳥居理事・伊藤理事・尾形理事・山形理事・山本理事・黒野理事・加藤理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事)

八月二十二日

■第十五回役員会 於 神社庁・WEB

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事・荻原参与)

七月二十一日

■第十六回役員会 於 ホテルサンプラザ・WEB

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・伊藤理事・尾形理事・山形理事・山本理事・黒野理事・加藤理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事)

八月二十二日

■第十五回役員会 於 神社庁・WEB

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事・荻原参与)

十月十八日

■第十六回役員会 於 ホテルサンプラザ・WEB

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・相澤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事)

十月十八日

■第十七回役員会 於 ホテルサンプラザ

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・相澤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事)

十月十八日

■第十八回役員会 於 北海道グリーンランド

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・相澤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事)

十月十八日

■第十九回役員会 於 北海道グリーンランド

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・相澤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事)

十月十八日

■第二十回役員会 於 北海道グリーンランド

(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局長・内田事務局次長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・森理事・相澤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事)

【主題】

『不易流行』

～変わらないために変わる～

【講師】

・國學院大學北海道短期大学部

准教授 森 悟朗 先生

・(地独)北海道立総合研究機構

林業試験場 森林環境部長

脇田 陽一 先生

・レバンガ北海道代表取締役社長

折茂 武彦 先生

■令和四年度北海道神道

青年協議会臨時総会

於 北海道グリーンランド

ホテルサンプラザ

会員数一四〇名 出席数六十名

委任状数五十一通

議件

一、次期会長並びに監事選出の件

一、令和五年度神青協中央研修会

実行委員会への件

一、令和五年度神青協中央研修会

会計予算案に関する件

一、その他

令和四年十一月八日

■道神青協スポーツ大会

於 ティノスポウルノルベサ

○出席者 三十七名

○懇親会

於 札幌エクスセルホテル東急

○出席者 四十一名

○懇親会

於 札幌エクスセルホテル東急

○出席者 四十一名

○懇親会

十一月二八日
第十七回役員会

於 本社庁・WEB
(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局次長・内田事務局次長・鳥居理事・板谷理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事)

一月十八日
第十八回役員会

於 北海道神宮頓宮・WEB
(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局次長・内田事務局次長・尾形理事・山形理事・瀧川慎理事・瀧川寛理事・黒野理事・加藤理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事・荻原参与)

二月二十一日
第十九回役員会

於 北海道神宮頓宮・WEB
(北方会長・後藤副会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局次長・内田事務局次長・鳥居理事・尾形理事・山形理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・黒野理事・加藤理事・井上理事・森理事・菊池監事)

三月七日・八日
道神青協研修旅行

於 徳島県(西山事務局次長・内田事務局次長・山形理事・山本理事・菊池監事・井上晋

会員・田湯紳会員・遠藤将会員・松谷会員・伊部宣会員・小野太会員・山根会員)

三月八日・九日
神青協中央研修

於 徳島グランヴィリオホテル
(北方会長・後藤副会長・荒木副会長・西山事務局次長・内田事務局次長・山形理事・松本理事・山本理事・井上理事・森理事・勝沼監事・菊池監事・荻原参与・井上晋会員・田湯紳会員・遠藤将会員・松谷会員・伊部宣会員・小野太会員・山根会員・菅原会員・大西康会員・大西俊会員)

三月十六日
「こめ、はねっ」で学ぶ

講師 書家・ツキカタ アートヴィレッジ村長 久保 奈月 様
御朱印実用勉強会

〇出席者 三十七名

三月十七日
第二十回役員会

於 本社庁・WEB
(北方会長・月館副会長・荒木副会長・西山事務局次長・内田事務局次長・鳥居理事・尾形理事・山形理事・松本理事・瀧川慎理事・山本理事・瀧川寛理事・中島理事・黒野理事・加藤理事・井上理事・森理事・本間理事・勝沼監事・菊池監事)

関係団体行事・出向

四月十一日
神青協監査

於 本社本庁(荻原参与)

四月二十一日
神青協第十二回事業委員会

於 WEB(井上理事)

四月二十五日
神青協第十一回役員会

於 本社本庁
(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

四月二十六日
神青協第七十三回定例総会

於 本社庁・WEB
(北方会長・荒木副会長・西山事務局次長・勝沼監事・荻原参与)

五月一日
神青協神宮啓発委員会

於 WEB(森理事)

五月十日
神青協第十二回役員会

於 石垣空港会議室
(北方会長・勝沼監事)

五月十一日
沖繩本土復帰五十周年奉告祭

於 沖繩県波照間島
(北方会長・勝沼監事)

五月二十五日
神青協第十一回神宮啓発委員会

於 難波御堂筋ホール・WEB(森理事)

六月九日
神青協第十三回役員会

於 WEB(北方会長)

六月十三日
神青協仏教青年会合同参拜

於 八坂神社・知恩院(荻原参与)
意見交換会

六月二十二日
神青協第十二回神宮啓発委員会

於 本社本庁・WEB(森理事)

六月二十九日
神青協第十三回事業委員会

於 WEB(井上理事)

七月十三日
神青協第十四回役員会

於 隠岐島文化会館
(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

七月十三・十四日
竹島の日現状視察

清掃奉仕並びに竹島研修会
於 隠岐の島
(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

七月二十五日
神青協第十三回神宮啓発委員会

於 シンフォニアテクノロジー
響・WEB(森理事)

八月四日

■北方領土の碑現状視察

並びに清掃奉仕

於 根室市

(北方会長・勝沼監事・菊池監事)

八月十日

■神青協第十四回神宮啓発委員会

於 シンフォニアテクノロジー

響・WEB

(森理事)

八月二十九日

■神青協第十五回役員会

於 神社本庁

(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

八月三十一日

■神青協夏期セミナー

於 神社本庁・WEB

(北方会長・西山事務局長・勝沼監事・菊池監事・荻原参与・田湯紳司
会員・田湯桃花会員)

九月二十七日

■神青協第十六回役員会

於 いせシティプラザ・WEB

(荻原参与)

九月二十八日

■神青協第十五回神宮啓発委員会

於 伊奈富神社・WEB(森理事)

十月二十六日

■神青協第十七回役員会

於 みんなの会議室那覇泉崎店・WEB

(北方会長・荻原参与)

十月二十七日

■沖繩本土復帰五十周年記念事業

沖繩戦全戦死者慰霊祭

於 沖繩護国神社

(北方会長・荒木副会長・荻原参与・
田湯紳司会員)

十月二十八日

■沖繩県遺骨収集

於 旧海軍司令部壕跡地(荻原参与)

十一月一日

■神青協第十六回神宮啓発委員会

於 WEB(森理事)

十一月十四日

■神青協第十六回事業委員会

於 WEB(井上理事)

十一月十六日

■神青協第十八回役員会

於 神社本庁・WEB

(北方会長・勝沼監事)

十一月十七日

■神青協臨時総会

於 神社本庁・WEB

(北方会長・荒木副会長・西山事務局長・勝沼監事)

十一月十七日

■神青協顧問会

於 明治記念館

十一月十九日

■神宮古殿地清掃奉仕

於 神宮(森理事)

十二月十二日

■神青協第十七回神宮啓発委員会

於 WEB(森理事)

十二月二十二日

■神青協第十七回事業委員会

於 WEB(井上理事)

一月十六日

■神青協第十九回役員会

於 神社本庁・WEB

(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

一月二十五日

■神青協第十八回神宮啓発委員会

於 神社本庁・WEB(森理事)

二月六日

■神青協第二十回役員会

於 神社本庁・WEB

(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

二月十四日

■神道政治連盟勉強会

於 参議院会館

(後藤副会長・本間理事)

二月十六日

■神青協第十八回事業委員会

於 WEB(井上理事)

二月二十一日

■栃木県青年神職むすび会

創立六十周年記念大会

於 宇都宮市(勝沼監事)

二月二十五日

■神青協第十九回神宮啓発委員会

於 WEB(森理事)

三月四日

■神青協第十九回事業委員会

於 WEB(井上理事)

三月七日

■神青協第二十一回役員会

於 徳島市 あわぎんホール

(北方会長・勝沼監事・荻原参与)

三月八日

■神青協第二十回事業委員会

於 徳島県(井上理事)

三月十一日

■東北六県神道青年協議会

東日本大震災物故者慰霊祭

於 石巻市 鹿島御児神社

(荻原参与)

【道神青協通信の発行について】

令和四年十一月三十日

第八十三号発行(担当・事業部会)

令和五年三月三十一日

第八十四号発行(担当・事業部会)



令和4年度 道神青協賛神社一覽

- 〔札幌〕北海道神宮・三吉神社・豊平神社・諏訪神社・伏見稻荷神社・札幌村神社・彌彦神社・信濃神社・札幌護国神社・篠路神社・琴似神社・寒寒神社・江南神社・新琴似神社・手稲神社・西野神社・相馬神社・月寒神社・厚別神社・大谷地神社・白石神社・廣島神社・江別神社・錦山天満宮・石狩八幡神社・当別神社・豊栄神社・千歳神社・上手稲神社・烈々布神社・水天宮・西岡八幡宮・新川皇大神社・石山神社・札幌祖霊神社・星置神社・澄丘神社
- 〔渡島〕七重浜海津見神社・雷公神社・船魂神社・落部八幡宮・亀田八幡宮・尻岸内八幡神社・福島大神宮・乃木神社・鹿部稻荷神社・意富比神社・上磯八幡宮・一本栗地主神社・砂原稻荷神社・函館八幡宮・湯倉神社・石崎地主海神社
- 〔後志〕住吉神社・龍宮神社・小樽稻荷神社・天満宮・潮見ヶ岡神社・豊足神社・高島稻荷神社・余市神社・仁木神社・美國神社・泊稻荷神社・岩内神社・小沢神社・俱知安神社・京極八幡神社・喜茂別神社・真狩神社・狩太神社・八幡神社・壽都神社・水天宮・厳島神社
- 〔空知〕岩見沢神社・滝川神社・沼田神社・南幌神社・夕張神社・長沼神社・市来知神社・大國神社・江部乙神社・赤平神社・空知神社・秩父神社・深川神社・新十津川神社・歌志内神社・雨竜神社・樺戸神社
- 〔上川〕北海道護國神社・富良野神社・名寄神社・鷹栖神社・美瑛神社・中富良野神社・東神楽神社・山部神社・風連神社・比布神社・和寒神社・旭川神社・東山神社・剣淵神社・神居神社・東川神社・當麻神社・大上川神社・土別神社・上川神社・下川神社・上富良野神社
- 〔留萌〕苦前神社
- 〔宗谷〕北門神社・浜頓別神社・厳島神社(枝幸)・豊富八幡神社・歌登八幡神社・厳島神社(礼文)・北見富士神社
- 〔網走〕網走神社・北見神社・女満別神社・美幌神社・津別神社・斜里神社・清里神社・小清水神社・端野神社・訓子府神社・置戸神社・留辺蘂神社・常呂神社・上常呂神社・相内神社・網走神道青年会
- 〔紋別〕雄武神社・滝上神社
- 〔胆振〕室蘭八幡宮・中嶋神社・本輪西八幡神社・樽前山神社・恵比須神社・伊達神社・壮瞥神社・虻田稻荷神社・豊浦神社・刈田神社・白老八幡神社・追分八幡神社・早来神社・厚真神社・鶴川神社
- 〔日高〕義経神社・大神宮社・氷川神社・静内神社・三石神社・浦河神社・様似住吉神社・住吉神社
- 〔十勝〕札内神社・上土幌神社・浦幌神社・帯廣神社・川西神社・足寄神社・清水神社・御影神社・本別神社・茂岩神社・音更神社・池田神社・幕別神社・十勝神社・大樹神社・大正神社・土幌神社・陸別神社・芽室神社・新得神社・鹿追神社
- 〔釧路〕厳島神社・釧路・三吉神社・鳥取神社・昆布森神社・厚岸神社・霧多布神社・川上神社・弟子屈神社・阿寒神社・厳島神社(白糖)・厚岸真龍神社
- 〔根室〕根室神道青年会

新入会員紹介



宮内雅教

みやうち まさのり

- 生年月日 昭和六十三年八月十二日
- 年齢 三十四歳
- 奉務神社・役職 砂川神社・禰宜
- 単体会名 空知支部青年神職会
- 最近ハマっている事 ジョギング
- 今一番欲しい物 時間

道神青協 事業品紹介



通信第八十四号の発行に際し、社務多忙の折、御寄稿賜りました皆様にご心より御礼申し上げます。令和三〜四年度北方会長期では、八十一〜八十四号の計四号を発行しました。慣例の各事業の記事や新入会員などの記事に加え、新たな掲載事項を企画し、表紙の作成、会長インタビュー、写真で振り返る北方会長期を掲載致しました。今後も道神青協の諸活動をよりわかりやすくお伝えすべく検討を重ねて参ります。

会員一同研鑽を積み、種々の事業に取り組んで参りますので先輩諸氏、御関係の皆様には御支援、御協力を賜ります様お願い申し上げます。(井上)

編集後記

題字『道神青』について

本通信は、平成四年二月一日創刊に当たり、当時の中野尹亮北海道神社庁庁長に御揮毫戴いたものです。

北海道神道

青年協議会事務局
北海道神宮社務所内

電話 〇一一六一一一〇二六一
ファックス 〇一一六一一一〇二六四
メール nishiyama3219@cloud.com